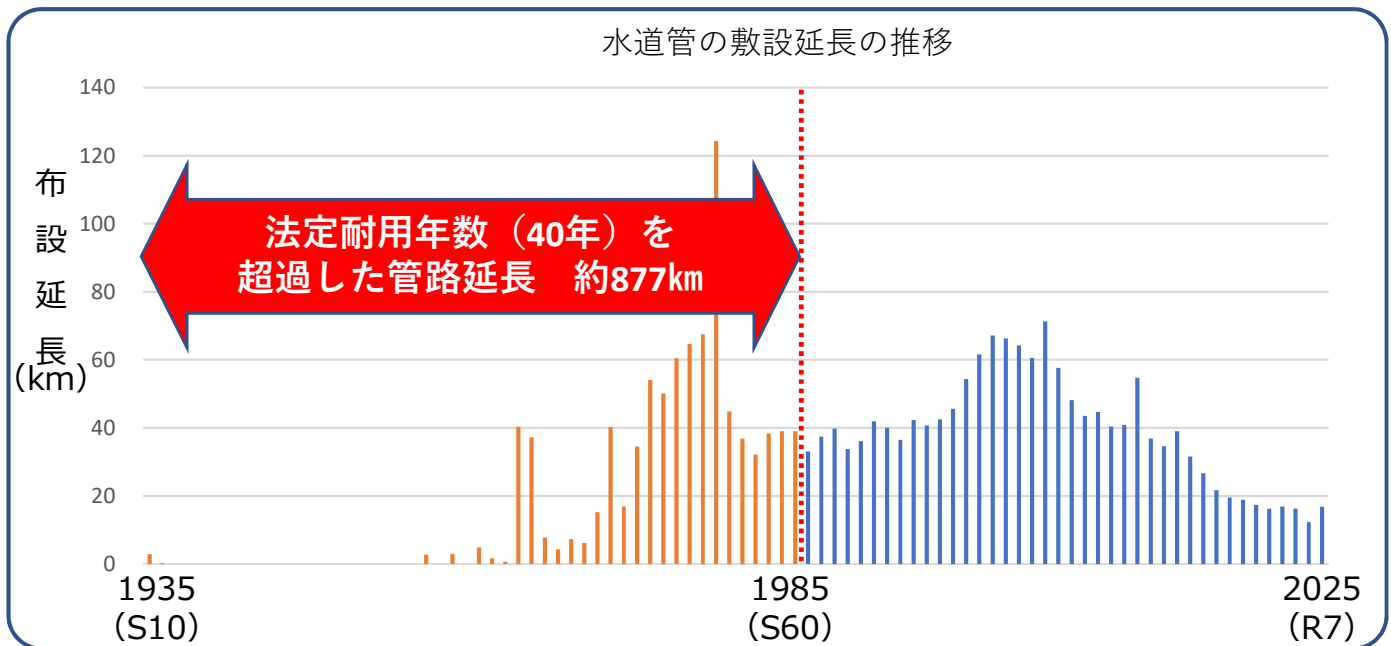


1. 水道管の布設延長及び管理延長の推移

一宮市は、1934年(昭和9年)から水道事業に着手しており、2025年(令和7年)3月末時点で約2,446 km の水道管が布設されています。このうち、法定耐用年数の40年を超過した水道管が約877 km に及びます。しかし、耐用年数を超えても使用できる水道管もあります。必ずしも全てを更新する必要はありません。一宮市では水道管をより長く使えるように適正な維持管理を行っています。



2. 漏水調査

古い水道管を放置すると、老朽化によって突然壊れることがあります。一宮市では漏水調査を行い、事前に漏水箇所を特定して修理しています。

調査では、音聴棒を使って水漏れの音を聞いたり、路面で音を確認したりして漏水を探しています。漏水が見つかったら、すぐに修理します。修理方法には、漏水箇所を切り取って新しい管を接続する方法や、漏水部分に治具（フクロ）を取り付けて漏れを防ぐ方法があります。

水道管が壊れると突然の断水やにごり水が発生し、市民生活に影響を与える可能性があるため、維持管理に努めて安定した水道水の供給を心がけています。

<漏水調査状況>



音聴棒にて仕切弁の漏水音を確認



漏水探知器にて路面下の漏水音を確認



漏水が発見されたら速やかに修繕を行います。